

入札参加者 様

川井浄水場長

質 問 回 答 書

- 1 工 事 名 : 相模原沈澱事務所非常用自家発電設備更新工事
- 2 工事担当部署 : 川井浄水場電機係
- 3 担 当 者 : 電機係長
- 4 連 絡 先 : 電話番号 045-921-1174
F A X 045-922-4989
- 5 内 容

質 問 事 項	回 答
<p>1</p> <p>工事特記仕様書 第2章機器 1.非常用自家発電設備</p> <p>①超低騒音について、機側1mにおける騒音値(dBA)をご教示願います。</p> <p>②図面3/5機械施工図において、発電装置本体と燃料小出槽は「撤去・新設」となっておりますが、屋外設置のラジエータは「撤去」のみとなっております。これは、今回屋内ラジエータにすることを意味するのでしょうか。</p> <p>屋内ラジエータですと、ラジエータ排風ダクト、ラジエータ消音器、ラジエータ排風ファン等は不要でしょうか。配置図に記載がなく不明のため、ご教示願います。</p> <p>③図面3/5機械施工図において、既設発電機室に給気ダクト、給気ファン、給気消音器等が見当たりませんが、どのように給気されているのでしょうか。ドアなどにガラリがあるのでしょうか、ご教示願います。</p> <p>④図面5/5単線結線図の更新対象(赤枠内)にある400W,270Wの負荷名をご教示願います。この負荷の主回路及び制御回路は、パッケージ形発電装置内にあるのでしょうか。パッケージ形発電装置とは別に制御盤が必要ではないのでしょうか。</p>	<p>1</p> <p>①75dB(A) at 1mレベルです。</p> <p>②ラジエータは新設する非常用自家発電設備(屋内キュービクル形)のキュービクル内に設置することとします。よって、排風ダクト、消音器、排風ファンは不要となります。</p> <p>③発電機室壁面のガラリより給気しています。</p> <p>④ラジエータユニット(400W)、換気扇(270W)です。</p> <p>制御盤については、契約後の現場調査結果を受け、協議により決定するものとします。</p>

2 工事特記仕様書 第3章工事 3. 仮設工事 仮設発電機の燃料タンクは、別途設置する 必要はございますか。 また、必要時タンク容量も合わせてご教示 願います。	2 必要ありません。
3 出来高部分検査の対象をご教示願います。	3 工事特記仕様書 第2章 機器 に記載 されているものが対象となります。
4 現場代理人は機器製作期間と工事期間でわ ける事は可能でしょうか。	4 原則可能ですが、契約後の協議により決定 するものとします。
5 更新後の燃料につきましては満タンにて引 渡となりますか。	5 機器試運転終了後の燃料補充は不要です。
6 負荷試験は抵抗器等の使用と考えてよろし いでしょうか。	6 機器据付後に行う負荷試験は、実負荷を予 定しています。
7 特記仕様書4-3(2)における仮設発電機のリース 期間が 90 日程度と記載されておりますが別 途工事の影響等によりリース期間が延長される 事はありますか。	7 別途工事の影響等による仮設発電機のリ ース期間延長は想定していません。
8 今回撤去する機器及び工事の中でアスベストが 含有している可能性のある機器などはあり ますでしょうか。又、アスベスト有無の事前調査 は必要でしょうか。	8 今回撤去する機器等にアスベストの含有 は想定していません。事前調査について は、契約後の現場調査結果を受け、協議に より決定するものとします。
9 想定されている仮設発電機に特別な仕様 がございましたらご教示願います。 そして、容量は 65KVA・200Vで宜しいで しょうか。	9 仮設発電機の容量は既設機器と同等とし ます。既設機器の電圧は 200V、定格出力 は 65kVAです。詳細な仕様については契 約後の協議により決定することとします。
10 工事特記仕様書・撤去工事：更新対象の既設 機器の寸法は明示されています。 ついては、搬出開口寸法は支障なく確保され ていると判断しますが、確認の為に搬出・搬 入開口部寸法をご教示願います。	10 搬出入用扉の寸法は (W) 2000mm (H) 2440mm 程度です。
11 排気管貫通部充填はモルタルが破損の可能 性があり、ロックウール充填で防雨カバー施 工でよろしいでしょうか。	11 契約後の協議により決定するものとしま す。

<p>12 ラジエータ排風の開口が無いように思われますが、排風はどの様に排出するのでしょうか。</p>	<p>12 更新後の排風については発電機室に設置されている既設換気扇により行うことを想定していますが、容量不足など問題がある場合は、その方法について協議により決定することとします。</p>
<p>13 工事特記仕様書の第2章—1—（5）発電機盤構成に記載されている電源切替装置は、単線結線図の 42E. 42M の機器であると解釈してよろしいでしょうか。</p>	<p>13 そのとおりです。</p>
<p>14 13 で単線結線図の 42E. 42M の動作は停電発生時に 42E がONし右下の系統に電源を供給しますが、42M のマグネットは任意で発電機より操作し、左側の系統に電源を供給する動作と認識してよろしいでしょうか。</p>	<p>14 非常用発電機運転時は 42M 負荷側への電源供給は行いません。詳細については、契約後に提示する図面等で御確認ください。</p>
<p>15 新設発電機の電源切替装置は既設マグネットと同様の操作をさせるのでしょうか。</p>	<p>15 そのとおりです。詳細については契約後の協議により決定するものとします。</p>
<p>16 発電機の容量確認の為、発電機負荷をご教授ください。</p>	<p>16 設計図書に添付されている図面（5/5）を参照してください。</p>
<p>17 新設発電機の騒音値仕様は何 db でしょうか。</p>	<p>17 回答 1 ①と同じです。</p>
<p>18 機械施工図を確認すると発電機排風ダクトの記載がありません。 既設発電機は排風ダクトは無いのでしょうか。排風ダクトがない場合、新設発電機も排風ダクト無しと解釈してよろしいでしょうか。排風ダクトがある場合、新設発電機から既設排風ダクト開口に接続すると推測されます。排風ダクトの開口位置と寸法をご教授下さい。</p>	<p>18 新設発電機も排風ダクト無しとします。</p>
<p>19 敷地境界での騒音値をご教示ください。</p>	<p>19 騒音の規制基準については、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等、関連する法規のとおりです。</p>
<p>以下余白</p>	<p>以下余白</p>